

公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名 ゴールドコーストチャレンジカップ

試合番号 3	備考	年 H 26	月 12	日 17	時間 18:00	場所 Gold Coast Hockey Stadium	ピッチ
-----------	----	-----------	---------	---------	-------------	---------------------------------	-----

チーム名
JAPAN
(1分)

試合	2	-	2
1	1	-	0
2	0	-	0
3	0	-	0
4	1	-	2

チーム名
AUSTRALIA
(1分)

NO.	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	31	1	TANAKA Akio (GK)			
2	×	2	SUZUKI Fumika (GK)			
3	×	3	MORIKAWA Mei			
4	10	4	TSUBOUCHI Moeka	49		
5	×	5	INOUE Sakura (C)			
6	×	6	ITO Akari			
7	×	7	NAKAHANA Airi			
8	×	8	MORI Kanon			
9	10	9	NOCHIMOTO Wakana			
10	10	10	SEGAWA Maho			
11	16	11	IMAO Akiho			
12	×	12	TANAKA Kaho			
13	×	13	TAKIZAWA Maho			
14		14	ARATA Saaya			
15	×	15	KOMIYA Haruna			
16	10	16	MURAYAMA Miho			
17	12	17	KUBODERA Yuki			
18	×	18	ENND0 Nagisa			

NO.	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	×	1	Taylor Sophie			
2	×	2	Fitzpatrick Savannah	58		
3	×	3	Taylor Renee			
4	×	4	Wellstad Leah			
5	×	5	Barden Laura			
6	2	6	Constable Dana			
7	4	7	Spano Michaela			
8	×	8	Truskineer Michael			
9	×	9	Archer Siena			
10	×	10	Greiner Rebecca			
11	2	11	Wilkson Brit			
12	×	12	Hunter Renee			
13	4	13	Smith Maddi			
14	×	14	King Trish			
15	5	15	Waterson Jess			
16	×	16	Power Aleisha			
17	5	17	Williams Mamal			
18		18				

監督 山野 秀一

監督 Narrod D King

アンパイア Cubigl

アンパイア Hurren

ジャッジ Yeler

リザーブアンパイア

T. O.

特記事項

チーム	時間	No.	種	スコア
JPN	10	12	FG	1-0
AUS	55	2	PC	1-1
JPN	57	4	PC	2-1
AUS	60	10	PC	2-2

チーム	時間	No.	種	スコア

チーム	時間	No.	種	スコア

U18女子 ゴールドコーストチャレンジカップ

第3戦 【12月17日 18:00~】 vs AUS

オーストラリアのセンターパスで試合が開始。日本は立ち上がり20秒でPCを取られる。相手のミスにより先制点は免れる。徐々に日本はペースを掴み、9分#8森が右LCからのボールを受け、シュートするも、AUS GKのナイスセーブで得点することができない。そのリバウンドボールの処理をAUS DFがミスし、日本はPCを取得。#8森のヒットは枠を捉えることができない。9分、#12田中-#8森と繋ぎシュートチャンスを得るも、決めきることができない。10分、#10瀬川のセンターリングに#8森、#12田中が飛び込んでゴール前で合わせ、田中が先制点を挙げる。オーストラリアも積極的に攻撃を仕掛け、11分シュートチャンスを得るも追いつくことができない。その後は互いに1本ずつのシュートチャンスを得るも、ゴールを割ることができない。13分、14分と立て続けに日本はPCを取得するも得点は決まらず、1-0で第1ピリオドを終える。

第2ピリオドに入ると、AUSの猛攻が始まる。厳しいフルプレスを仕掛けられ、日本DFにミスが続く。20分、25分、26分、28分、29分とAUSがシュートチャンスを得るも、日本DFが必死に守り、0-0で第2ピリオドを終える。

第3ピリオドに入ると、日本優位に試合が進む。立ち上がりこそ、AUSにPCを取得されるも、35分#8森、36分#6伊藤、37分#12田中、41分#7中花、43分#8森と連続してシュートチャンスを得るも、追加点を挙げることができない。AUSは43分、速攻からPCを取得するも決めきれず、0-0で第3ピリオドを終える。

第4ピリオドに入ると、一進一退の攻防が続く。AUSは47分、日本DFのクリアミスからPCを取得。しかし、このチャンスをまたしても生かすことができない。その後も互いにシュートチャンスを得るも、得点にはつながらない。AUSは55分、PCを取得。右に回されたボールはヒットシュートされ、GKの前につめていた選手がうまくあわせ、待望の1点を挙げる。日本も57分、PCを取得。#6伊藤の強烈なヒットシュートのリバウンドに#4坪内があわせ、日本がリードする。このまま終了かと思われた60分、AUSはPCを取得。右タッチを決められ追いつかれる。1-2で第4ピリオドを終え、トータル2-2の引き分けとなった。

	シュート					PC				
	1	2	3	4	合計	1	2	3	4	合計
JPN	7	0	4	3	14	3	0	0	1	4
AUS	1	5	1	6	13	2	1	2	4	9